

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
 気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

Information

参加者・演題募集中

当事者講演 第14回水俣病記念講演会

申込期限 4月25日 / 東京

参加者募集

日時：5月6日（火・祝）13時〜16時40分

会場：有楽町朝日ホール（東京都千代田区）

テーマ：ともに生きていく

プログラム：講演 杉本肇（漁師・水俣病患者）・丸山定巳（地域社会学者）・上野千鶴子（家族社会学者）・中島岳志（近代政治思想史、北海道大学准教授）

司会：演奏 大倉止之助

参加費：

〈前売〉一般1600円、学生1000円

〈当日〉一般2200円、学生1500円

※4枚つづり前売券あり

（5000円・郵便振替にて申込）

申込方法：チケットぴあ、ローンチケット、イープラスにて。つ

づり券は、郵便振替にて（口座番号000120014139861

4、加入者名「水俣フォーラム」、通信欄に「記念講演会前売券希望」と明記）

申込期限：4月25日（金）

問 水俣フォーラム

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場1-34-1

2 竹内ローリエビル404

☎ 03-3208-3051

FAX 03-3208-3052

http://www.minamata-f.com

日本看護協会 2014年度 全国看護師交流集会II

6月12日 / 愛知

参加者募集

日時：6月12日（木）9時〜16時

会場：日本ガイシフォーラム（愛知県名古屋市中区）

プログラム：「認知症に関する特別講演」2題／基調講演「今後の認知症施策の方向性について（仮）」／市民公開講座「認知症サポーター養成講座」ほか

参加費：会員無料、非会員1000円

申込方法：Eメール、またはFAXにて。詳細はホームページ参照

問 公益社団法人日本看護協会健康政策部職能担当係

shokuno@nurse.or.jp

☎ 03-5778-8478

http://www.nurse.or.jp/home/sokai/

在宅緩和ケアほか

日本訪問看護財団研修

受講者募集

7〜8月 / 東京

1. 質の高い在宅ケア実践のためのELNEC-J2014（2日間研修）

日時：7月5日（土）・6日（日）

会場：日本看護協会JNAホール（東京都渋谷区）

ねらい：がん患者だけでなく、高齢者や非がん患者も含めてエン

ド・オブ・ライフケアを理解し、

症状マネジメントなどを行なう訪問看護師の役割について学ぶとともに、チームケアの質を向上させる具体的な方策について考える

プログラム：「エンド・オブ・ライフケアにおける看護・倫理的問題・文化への配慮」痛みのマネジメント「症状マネジメント」コミュニケーション「喪失・悲嘆・死別」臨終期のケアなど全10モジュール

講師：桑田美代子（青梅慶友病院看護介護開発室長、老人看護専門看護師）・濱本千春（YMC A訪問看護ステーション・ピース所長、がん看護専門看護師）・千葉恵子（亀田総合病院緩和ケア専従、緩和ケア認定看護師）・平原優美（あすか山訪問看護ステーション統括所長、訪問看護認定看護師、在宅看護専門看護師）・平野和恵（財団事業部認定看護師教育課程専任教員、緩和ケア認定看護師）

対象：訪問看護師およびエンド・オブ・ライフケアに関心のある看護士など

受講料：会員1万円、非会員3万円

2. 精神障害者の在宅看護セミナー（3日間研修）

日時／会場：8月29日（金）・30日（土）／東京工科大学（東京都大田区）

8月31日（日）／品川フロント会議室（東京都港区）

ねらい：精神障害者施策、精神障害者の病態と治療・集団療法、援助技術を理解する、訪問看護体制を整えて、精神障害者と家族への看護が実践できる

プログラム：「精神保健の現状と動向」訪問看護に関わる制度・報酬の動向「精神障害者の病態」精神障害者の薬物療法と最新治療法「精神障害者の訪問看護の動向」最新知識と制度活用「訪問看護におけるメンタルヘルスケア」精神障害者の各種療法「精神訪問看護の基礎」精神障害者への集団療法と精神科リハビリテーション「精神訪問看護の実践」精神障害者の家族および介護者への支援

対象：精神訪問看護に従事する看護職員、作業療法士など

受講料：会員3万円、非会員6万円

【以下共通】

申込方法：ホームページより

問 日本訪問看護財団（研修担当）

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前5-8-2

日本看護協会ビル5階

☎ 03-5778-7005

FAX 03-5778-7009

http://www.jvnt.or.jp/

アディクション看護

2014年度アルコール・薬物依存関連学会
合同学術総会

演題募集期限 5月29日 / 神奈川

参加者募集

日時：10月30日（金）・4日（土）

会場：日本看護協会ビル5階

ねらい：精神障害者施策、精神障害者の病態と治療・集団療法、援助技術を理解する、訪問看護体制を整えて、精神障害者と家族への看護が実践できる

プログラム：「精神保健の現状と動向」訪問看護に関わる制度・報酬の動向「精神障害者の病態」精神障害者の薬物療法と最新治療法「精神障害者の訪問看護の動向」最新知識と制度活用「訪問看護におけるメンタルヘルスケア」精神障害者の各種療法「精神訪問看護の基礎」精神障害者への集団療法と精神科リハビリテーション「精神訪問看護の実践」精神障害者の家族および介護者への支援

対象：精神訪問看護に従事する看護職員、作業療法士など

受講料：会員3万円、非会員6万円

【以下共通】

申込方法：ホームページより

問 日本訪問看護財団（研修担当）

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前5-8-2

日本看護協会ビル5階

☎ 03-5778-7005

FAX 03-5778-7009

http://www.jvnt.or.jp/

アディクション看護

2014年度アルコール・薬物依存関連学会
合同学術総会

演題募集期限 5月29日 / 神奈川

参加者募集

日時：10月30日（金）・4日（土）

※第16回国際嗜癪医学会年次学術総会(10月25~6日)と合同開催
会場：パシフィコ横浜会議セン
ター(神奈川県横浜市)

チーム：物質と行動のアドイク
ション——多様な時代へのチャ
レンジ

参加費：

①9/2 会員8000円、非
会員9000円

②当日 会員9000円、非会員
1万2000円、学生(学生証提
示)および当事者・家族3000
円

申込方法：ホームページより

【演題募集】

応募期限：5月29日(木)

株式会社コングレ内事務局

〒102-8481

東京都千代田区麹町5-1

弘済会館6階

☎03-5216-5618

☎03-5216-5552

✉adds2014@congre.co.jp

http://www.congre.co.jp/
adds2014/

訪問看護の基礎

2014年度「訪問看護
eラーニング」

開講日：6月2日

受講者募集

開講日：6月2日(月)

申込期間：6月2日(月)

～2015年1月5日(月)

受講可能期間：ユーザーD・パス
ワード配信日から5か月間

受講方法：インターネットを利用
した通信教育

プログラム：「新たな訪問看護研
修ステップ1」に準じた訪問看護
に関する基礎的内容(訪問看護概
論、訪問看護対象論、訪問看護展
開論、在宅ケアシステム論、訪問
看護技術論、訪問看護管理論)

※詳細はホームページ参照
受講料：(個人)1万5000円
(都道府県看護協会)1万3000
円

申込方法：個人はホームページよ
り、訪問看護師養成講習会に訪問
看護eラーニングを活用する都道
府県看護協会は各都道府県看護
協会の定めによる

日本訪問看護財団「訪問看護e
ラーニング」ヘルプデスク

☎03-5860-5322

✉support@etelearning.co.jp

http://www.jvrf.or.jp/

がん看護

第55回日本臨床細胞学会
総会春期大会
市民公開講座

6月8日/神奈川県

参加者募集

日時：6月8日(日) 13時～15時
40分

会場：パシフィコ横浜メインホー
ル(神奈川県横浜市)

テーマ：横浜から発信する日本の
がん予防と治療の最前線

プログラム：第一部「ここまで進
んだ日本のがん診療——消化器

がん」遠藤格(横浜市立大学消化
器・腫瘍外科教授)・「肺がん」加
藤晃史(神奈川県立循環器呼吸器
病センター肺がん包括診療セン
ター医長)・「乳がん」石川孝(東
京医科大学病院乳腺科教授)・「が
ん化学療法：患者支援」宮城悦子
(横浜市立大学附属病院化学療法
センター長)／「トピックと演奏」

松田陽子(歌手・子宮頸がんサバ
イバー)／第2部「あなたとあな
たの大切なひとのために——日
本を子宮頸がん予防先進国にする
ための提言」今野良(自治医科大学
附属さいたま医療センター産婦
人科教授)／子宮頸がん征圧をめざ
す専門家会議実行委員長・古本
博孝(徳島県産婦人科医会がんだ
対策委員長・徳島赤十字病院婦人科
副部長)・加藤順子(日本臨床細胞
学会細胞検査士会子宮頸がん検診
委員会啓発分科部長・日本セル
ネット病理組織細胞診センター技
術課長)・佐藤美紀子(横浜・神奈
川子宮頸がん予防プロジェクト／
横浜市立大学附属病院産婦人科講
師)・澁谷寛子(リボンムーブメン
ト女子大生代表)

参加費：無料(事前申込制)

株式会社朝日エール内事務局(戸
倉・窪田・中村)

〒104-0045

東京都中央区築地2-12-10

築地Mビル26号館5階

☎03-3542-0398

☎03-5565-4914

✉info@ellesnet.co.jp

http://www.congre.co.jp/
jsc2014/contents/lecture.
html

日仏討論

ケアの社会をつくるのは
不可能ではない

7月16日/東京

参加者募集

日時：7月16日(水) 18時30分～
20時30分

会場：アンステイチュ・フランセ
東京 エスパイマージュ(東京
都新宿区)

趣旨：「配慮(世話)の実践はどう
したら女性だけでなくすべての
人々のこととなるのか」集合的
責任、他者への配慮といった価値
をどのように考えるべきか「依
存している人々を支える行動をど
のように組織化すべきか」をフラ
ンスと日本の視点から議論する
※同時通訳つき

講演：フアビエンヌ・ブルジェ
ール(モンテニユ大学哲学教授・
ボルドー都市共同体開発委員会委
員長)

討論者：フィリップ・モッセ(フ
ランス労働経済社会学研究所
エクス・マルセイユ大学教授、
保健医療経済学専門)

コーディネーター：山下り子(東
洋大学法学部教授・原山哲(東洋
大学社会学部教授)

申込方法：予約不要

参加費：無料

原山哲(東洋大学)

✉t.harayama@toyo.jp

小児看護

第25回日本小児外科
QOL研究会

演題募集期限7月31日/東京

参加者募集

日時：10月18日(土)

会場：杏林大学医学部大学院講堂
(東京都三鷹市)

テーマ：チームで支えるQOL
——QOLの未来に向けて

【演題募集】

募集期間：7月1日(火)～31日
(木)

要望演題：①NICU患児のQOL、
②腸瘻患児のQOL、③泌
尿生殖器術後患児のQOL、④
在宅医療のQOL、そのほか小児
外科QOLに関するもの

問 杏林大学小児外科(渡邊佳子)

〒181-8611

東京都三鷹市新川6-20-2

☎0422-47-5511

☎0422-44-0265

✉pedsurgqol25@procomu.jp

http://www.procomu.jp/ped-
surgqol2014/

糖尿病看護

第19回日本糖尿病教育・
看護学会学術集会

9月20~21日/岐阜

参加者募集

日時：9月20日(土)・21日(日)

会場：長良川国際会議場・岐阜都
ホテル(岐阜県岐阜市)

テーマ：長軸的コントロールを支援する知と技——聞くまなざしと語るまなざしをふまえて

プログラム：会長講演「人生と病いの長軸的コントロール」黒江ゆり子（岐阜県立看護大学）／招聘講演Ⅰ・Ⅱ「糖尿病のある生活における人々のこころの動き（仮）」

「糖尿病におけるこころの継続的ケアの在り方（仮）」ケティ・ワインガー（ジョスリン糖尿病センター、ハーバード大学）／教育講演Ⅰ「心のメッセージを聴く」池見陽（関西大学臨床心理専門職大学院）・Ⅱ「糖尿病食事療法の最近の話題（仮）」津田謹輔（帝塚山学院大学人間科学部食物栄養学科）・Ⅲ「糖尿病とともに生きる——対話から希望へ」山田憲一（山田憲一内科医院）／シンポジウム「長軸的コントロールを支援する知と技——語りを聴くこととの意義」畑中あかね（医療法人医誠会医誠会病院）・米田昭子（山梨県立大学看護学部成人看護学）・白水真理子（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科）・Ⅱ「糖尿病透析予防支援——2年間の実績から」小江奈美子（国家公務員共済組合連合会 浜の町病院）・岡美智代（群馬大学大学院保健学研究科）・柳井田恭子（川崎市立井田病院）／教育セッションⅠ「心のメッセージを聴くために（仮）」池見陽・Ⅱ「見て護る者としての聴くことの知と技（仮）」遠藤淑美（大阪大学大学院医学系研

究科保健学専攻）・Ⅲ「病みの軌跡を学ぶ（仮）」伊波早苗（滋賀医科大学医学部附属病院）

事前受付：5月15日（木）～7月24日（木）

株式会社コンベンションリンクージ内運営準備室
〒460-0008
名古屋市中区栄3-32-20
朝日生命矢場町ビル

TEL 052-262-5070
FAX 052-262-5084

✉ jaden19@c-linkage.co.jp
http://www.c-linkage.co.jp/jaden19/

ケアの科学

第34回日本看護科学学会
学術集会

11月29・30日／愛知

参加者募集

日時：11月29日（土）・30日（日）

会場：名古屋国際会議場（愛知県名古屋市中区栄3-32-20）

テーマ：看護ケア学の構築をめざす——研究成果を臨床へ

プログラム：会長講演「看護ケア学構築へ向けての展望」鎌倉やよい（愛知県立大学）／特別講演Ⅰ「看護ケアを科学する方法論の構築——褥瘡ケアの体系化をめざして」真田弘美（東京大学）・Ⅱ「行動の原理からみる看護環境のアレンジ」坂上貴之（慶應義塾大学）／教育講演Ⅰ「ケアの効果を測定するシングルケース研究法」井上雅彦（鳥取大学）・Ⅱ「脳卒中患者の

背面開放座位ケアプログラム——開発・還元・定着のプロセス、そして課題」大久保暢子（聖路加看護大学）／シンポジウムⅠ「実践の課題を研究へ——看護ケアプログラムの開発」・Ⅱ「看護ケアプログラムのイノベーションに向けた方略」／ワークショップ、一般演題、交流集会、市民フォーラム、ナースング・サイエンス・カフェなど

参加費：
〈10/3〉会員1万円、非会員1万2000円
〈当日〉会員1万2000円、非会員1万4000円、学生3000円

申込方法：ホームページより

株式会社コンベンションリンクージ内運営事務局
〒460-0008
名古屋市中区栄3-32-20
朝日生命矢場町ビル

TEL 052-262-5070
FAX 052-262-5084

✉ jans34@c-linkage.co.jp
http://www.c-linkage.co.jp/jans34/